

令和2年度 エゾシカ対策有識者会議 第6回エゾシカ管理のあり方部会における話題提供

釧路丹頂農業協同組合 営農部白糠営農課
営農課長 手塚 裕明
営農相談係長 高野 明徳



JAくしろ丹頂 組合の概要

当JAは平成18年6月1日に旧JAつるい、旧JA幌呂、旧JA白糠町、旧JAおんべつの4JAの合併により発足しました。

JAくしろ丹頂のマークは、釧路湿原や阿寒摩周国立公園、太平洋といった豊かで清らかな環境を周辺に持ち、名称にも使われる「タンチョウ」の生息地であることを表現しました。大地に根ざし、大切にしてきた環境を守り、豊かな未来を切り拓く決意を表しています。

酪農が主体で平成30年度は134戸の農場によって1万2千頭の搾乳牛から10万1千トンの生乳を生産しており、出荷量は釧路管内の19%を占め管内で2番目、北海道内でも11番目となっております。

組合員数	正組合員数	342人
	准組合員数	2,123人
	合計	2,465人
(令和2年2月末現在)		
主な事業量	貯金	20,874百万円
	長期共済保有高	48,884百万円
	販売品販売・取扱高	12,249百万円
	生乳取扱量	101,553ト
	購買品供給・取扱高	6,689百万円
(令和2年2月末現在)		



白糠町農業の推移

①白糠町農業の概要

年次	農家数				農業従事者数	経営耕地面積 (ha)			農家1戸当たりの耕地面積 (ha)
	総数	専業	兼業			総面積	畑	牧草専用地	
			第1種	第2種					
H5	274	121	62	91	714	4,376	41	4,335	16.0
H12	203	83	38	82	508	4,030	249	3,781	19.9
H17	141	76	33	32	326	3,953	137	3,816	28.0
H22	117	66	21	30	262	3,838	322	3,516	32.8
H27	79	51	20	8	200	4,096	566	3,530	51.8
R2									

3

白糠町農業の推移

②家畜の飼養戸数及び頭数

年次	乳牛				肉用牛				馬				めん羊						
	戸数	頭数	1戸当たりの頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数				
H17	94	6,053	64	31	264	36	239	4	629	H26	61	4,938	81	16	168	29	148	2	905
H18	91	5,876	65	34	238	36	202	4	603	H27	55	4,743	86	16	156	22	129	2	1,003
H19	87	5,940	68	21	246	38	282	3	770	H28	54	4,527	84	15	184	19	106	2	887
H20	78	5,705	73	36	321	38	243	3	789	H29	51	4,511	88	16	188	20	112	2	905
H21	78	5,790	74	36	329	26	172	3	874	H30	49	4,522	92	20	295	19	120	4	1,106
H22	72	5,587	78	34	257	21	142	3	942	R1	46	4,540	99	22	247	20	124	4	991
H23	69	5,444	79	42	223	22	130	4	892		△ 32	△ 1,250	25	△ 14	△ 82	△ 6	△ 48	1	117
H24	70	5,305	76	17	149	25	142	2	944	10年前との比較	59%	78%	134%	61%	75%	77%	72%	133%	113%
H25	65	5,052	78	16	147	28	138	2	925										

4

白糠町農業の推移

③農業生産額

年度	生乳		畜産物 (百万円)	農産物 (百万円)	総生産額 (百万円)	年度	生乳		畜産物 (百万円)	農産物 (百万円)	総生産額 (百万円)
	生産量(ト)	乳代(百万円)					生産量(ト)	乳代(百万円)			
H17	24,644	1,681	408	11	2,100	H26	20,668	1,715	363	17	2,095
H18	23,712	1,567	385	14	1,966	H27	21,376	1,877	457	14	2,348
H19	23,737	1,563	371	12	1,946	H28	21,266	1,910	576	8	2,494
H20	23,702	1,667	370	16	2,053	H29	20,313	1,844	538	13	2,395
H21	24,341	1,854	354	13	2,221	H30	20,311	1,860	561	15	2,436
H22	24,244	1,805	380	17	2,202	R1	19,956	1,823	553	18	2,394
H23	23,485	1,769	404	20	2,193		△ 4,385	△ 31	199	5	173
H24	22,895	1,782	337	11	2,130	10年前との比較	82.0%	98.3%	156.2%	138.5%	107.8%
H25	21,957	1,737	277	16	2,030						

5

白糠町農業の推移

④搾乳農家戸数

年度	戸数	前年対比	年度	戸数	前年対比
H17	82		H26	52	△ 4
H18	81	△ 1	H27	47	△ 5
H19	77	△ 4	H28	45	△ 2
H20	74	△ 3	H29	43	△ 2
H21	69	△ 5	H30	41	△ 2
H22	66	△ 3	R1	40	△ 1
H23	62	△ 4	10年前との比較	—	△ 29
H24	59	△ 3			58%
H25	56	△ 3			

6

エゾシカによる農作物被害状況の推移①

年度	区分	テントコーン	牧草	合計	年度	区分	テントコーン	牧草	合計
H4	被害減収量 (+)	852.3	25,816.4	219,085	H11	被害減収量 (+)	365.5	25,725.7	196,270
	被害額 (千円)	9,973	209,112			被害額 (千円)	3,326	192,944	
H5	被害減収量 (+)	724.3	27,834.5	233,788	H12	被害減収量 (+)	253.9	15,489.8	110,687
	被害額 (千円)	8,329	225,459			被害額 (千円)	2,259	108,428	
H6	被害減収量 (+)	327.8	28,573.8	240,671	H13	被害減収量 (+)	453.1	13,445.2	91,427
	被害額 (千円)	3,507	237,164			被害額 (千円)	4,033	87,394	
H7	被害減収量 (+)	784.2	33,554.1	279,395	H14	被害減収量 (+)	696.5	13,800.4	89,000
	被害額 (千円)	7,607	271,788			被害額 (千円)	6,199	82,801	
H8	被害減収量 (+)	659.8	39,455.5	329,737	H15	被害減収量 (+)	526.9	13,958.4	81,513
	被害額 (千円)	6,202	323,535			被害額 (千円)	4,742	76,771	
H9	被害減収量 (+)	334.6	41,723.6	357,762	H16	被害減収量 (+)	603.7	14,367.7	77,150
	被害額 (千円)	3,112	354,650			被害額 (千円)	5,312	71,838	
H10	被害減収量 (+)	332.7	31,179.6	252,463	H17	被害減収量 (+)	796.8	14,213.2	77,838
	被害額 (千円)	3,027	249,436			被害額 (千円)	6,772	71,066	

7

エゾシカによる農作物被害状況の推移②

年度	区分	テントコーン	牧草	合計	年度	区分	テントコーン	牧草	合計
H18	被害減収量 (+)	578.3	14,589.4	102,721	H25	被害減収量 (+)	2,395.6	24,512.2	197,867
	被害額 (千円)	4,973	97,748			被害額 (千円)	18,926	178,941	
H19	被害減収量 (+)	628.1	14,688.1	99,279	H26	被害減収量 (+)	2,918.7	22,655.6	193,267
	被害額 (千円)	5,276	94,003			被害額 (千円)	23,350	169,917	
H20	被害減収量 (+)	799.9	15,777.0	102,719	H27	被害減収量 (+)	2,524.1	20,072.8	168,984
	被害額 (千円)	6,479	96,240			被害額 (千円)	20,445	148,539	
H21	被害減収量 (+)	2,491.2	17,476.3	122,543	H28	被害減収量 (+)	2,491.9	19,599.8	165,223
	被害額 (千円)	19,432	103,111			被害額 (千円)	20,184	145,039	
H22	被害減収量 (+)	2,149.7	19,013.4	127,634	H29	被害減収量 (+)	2,682.4	20,522.6	179,309
	被害額 (千円)	16,338	111,296			被害額 (千円)	23,337	155,972	
H23	被害減収量 (+)	2,041.2	21,531.1	166,232	H30	被害減収量 (+)	3,846.9	24,678.9	194,650
	被害額 (千円)	15,513	150,719			被害額 (千円)	34,238	160,412	
H24	被害減収量 (+)	1,809.3	23,169.2	183,249	R元	被害減収量 (+)	4,423.1	24,344.3	209,776
	被害額 (千円)	14,113	169,136			被害額 (千円)	39,366	170,410	

8

エゾシカ等による農作物被害調査書(様式)

農家氏名: _____ 番号 1

エゾシカ等による農作物被害調査書

被害作物	経営面積 (R1.1.1)	令和元年							平成30年						
		作物別 作付面積	被害無し (0%) 面積	被害程度別面積				A+B+C+D 被害面積 計	作物別 作付面積	被害無し (0%) 面積	被害程度別面積				A+B+C+D 被害面積 計
				A 1~30% 未満	B 30~50% 未満	C 50~80% 未満	D 80%以上				A 1~30% 未満	B 30~50% 未満	C 50~80% 未満	D 80%以上	
ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha		
【例】		10.0	6.0	1.0	1.0	1.0	2.0	5.0	10.0	5.0	1.0	1.0	1.0	2.0	5.0
デントコーン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
牧草	1 割草	38.3	20.0	8.0	10.3	0.0	0.0	18.3	38.3	20.0	8.0	10.3	0.0	0.0	18.3
	2 蓄草		20.0	8.0	10.3	0.0	0.0	18.3	38.3	20.0	8.0	10.3	0.0	0.0	18.3
	3 蓄草		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	放牧地	0.9	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
小計	39.2	78.8	42.2	18.0	20.6	0.0	0.0	36.6	78.8	42.2	18.0	20.6	0.0	0.0	36.6
その他															
他による被害面積 (デントコーン)															

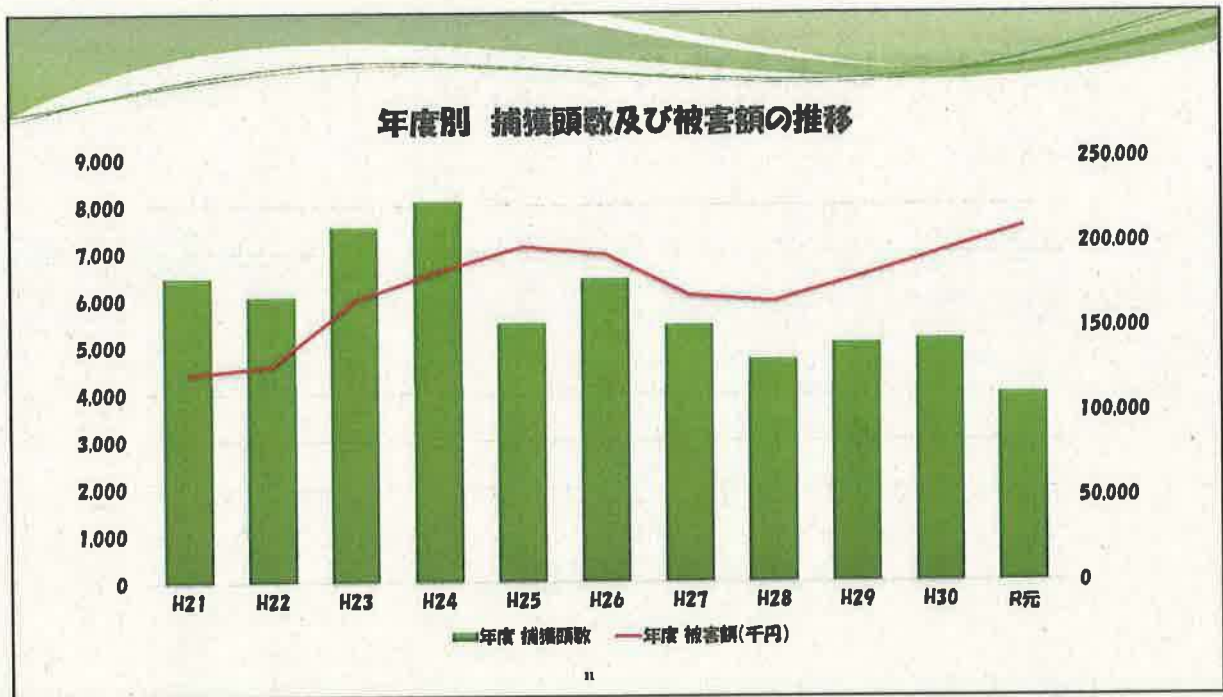
この表格の中のみ記入願います。

注1) 調査の基準日は11月1日です。
 注2) 被害程度別面積とは、最終収穫予想量に対する被害割合であって、食害を受けた面積の割合ではありません。
 注3) 鹿については、単純に被害を受けた面積と作物名のみで結構です。

エゾシカの捕獲頭数(白糠町)

シカの捕獲頭数一覧

年度	狩猟			有害捕獲			合計			
	雄	雌	計	雄	雌	計	雄	雌	雌割合	計
平成21年度	1,378	3,029	4,407	617	1,446	2,063	1,995	4,475	69.2%	6,470
平成22年度	1,005	1,906	2,911	908	2,252	3,160	1,913	4,158	68.5%	6,071
平成23年度	1,413	3,133	4,546	849	2,152	3,001	2,262	5,285	70.0%	7,547
平成24年度	1,436	3,413	4,849	918	2,325	3,243	2,354	5,738	70.9%	8,092
平成25年度	756	1,529	2,285	875	2,339	3,214	1,631	3,868	70.3%	5,499
平成26年度	715	1,502	2,217	1,362	2,861	4,223	2,077	4,363	67.7%	6,440
平成27年度	636	1,112	1,748	1,104	2,619	3,723	1,740	3,731	68.2%	5,471
平成28年度	568	783	1,351	1,247	2,128	3,375	1,815	2,911	61.6%	4,726
平成29年度	489	764	1,253	1,466	2,362	3,828	1,955	3,126	61.5%	5,081
平成30年度	379	414	793	1,905	2,466	4,371	2,284	2,880	55.8%	5,164
令和元年度				1,702	2,304	4,006	1,702	2,304	57.5%	4,006



- ## エゾシカ食害による農家経営への影響
- ・ 牧草及びテナコーン収量の減少
 - 粗飼料や濃厚飼料費購入費の増大
 - 収量確保のため遅刈り（品質低下）

 - ・ 草地更新率の低下
 - 雑草の繁茂（品質低下による乳量の減少）
 - 永年草地、遊休地の増大

 - ・ 鹿柵設置等による経費の増大
- 12

エゾシカ食害状況①（牧草）



13

エゾシカ食害状況②（牧草）



14

エゾシカ食害状況③ (牧草)



15

エゾシカ食害状況④ (デントコーン)



16

エゾシカ食害状況⑤ (デントコーン)



17

エゾシカ食害状況⑥ (デントコーン)



18

エゾシカ侵入防止柵設置状況（新設）

年度	事業名	事業量 (m)	事業費 (円)	備 考
8	飼料生産対策事業（エゾシカ侵入防止対策事業）	電気柵 6,445	5,927,721 国1/2以内、道1/4以内	
9	飼料生産対策事業（エゾシカ侵入防止対策事業）	電気柵 37,907	31,552,500 国50%、道40%	
		電気柵 60,771	70,140,000 国50%、道40%	
10	飼料生産対策事業（エゾシカ侵入防止対策事業）	広域フェンス 54,691	246,515,360 工事雑費含む	
		計 115,463	316,655,360	
		電気柵 53,245	62,580,000 国50%、道40%	
11	飼料生産対策事業（エゾシカ侵入防止対策事業）	広域フェンス 31,223	132,250,885 工事雑費含む	
		計 84,469	194,830,885	
		電気柵 81,387	94,605,000 国50%、道40%	
12	飼料生産対策事業（エゾシカ侵入防止対策事業）	広域フェンス 3,284	12,166,207 工事雑費含む	
		計 84,671	106,771,207	
18	中山間地域等直接支払交付金	フェンス 6,913	12,093,846 事業費の85%以内の助成額、維持補修費含む。	
22	中山間地域等直接支払交付金	フェンス 6,012	5,785,705 事業費の75%以内の助成額（上限75万）、維持補修費含む。	
23	中山間地域等直接支払交付金	フェンス 4,670	5,928,480 事業費の75%以内の助成額（上限75万）、維持補修費含む。	
24	中山間地域等直接支払交付金	フェンス 3,072	1,253,178 事業費の75%以内の助成額（上限75万）、維持補修費含む。	
25	鳥獣被害防止総合対策事業	フェンス 6,876	26,145,000 国55/100以内	
26	中山間地域等直接支払交付金	フェンス 3,318	3,336,010 事業費の75%以内の助成額（上限75万）、維持補修費含む。	
	鳥獣被害防止総合対策事業	フェンス 10,933	51,354,000 国55/100以内	
	中山間地域等直接支払交付金	フェンス 850	463,831 事業費の75%以内の助成額、維持補修費含む。	
27	鳥獣被害防止総合対策事業	フェンス 3,030	16,146,000 国55/100以内	
	中山間地域等直接支払交付金	フェンス 3,000	3,277,398 事業費の75%以内の助成額、維持補修費含む。	
28	鳥獣被害防止総合対策事業	フェンス 2,689	15,768,198 国55/100以内	
	中山間地域等直接支払交付金	フェンス 3,300	3,701,033 事業費の75%以内の助成額、維持補修費含む。	
29	鳥獣被害防止総合対策事業	フェンス 2,506	13,932,000 国55/100以内	
30	中山間地域等直接支払交付金	フェンス 6,500	9,921,711 事業費の75%以内の助成額、維持補修費含む。	
	中山間地域等直接支払交付金	フェンス 4,110	4,326,423 事業費の75%以内の助成額、維持補修費含む。	
R元	中山間地域所得向上支援事業	フェンス 5,305	13,441,000 直営施工、資材費定額補助	
		240km 電気柵 239,755	264,805,221	
		164km フェンス 164,283	577,806,265	
合計		合計 404,037	842,611,486	
		約404 Km	約8億4千万円	

白糠地区における防鹿柵設置状況の経過と今後の対応について

- ☑ 白糠町に於いては、平成2年頃からエゾシカによる牧草等、飼料作物の被害により牧草収量が減少し農家経済に多額の損失を与えている状況であった。
これらの農業被害にどのように対応して行くかをJAと農業者と町で協議を重ねた結果、平成8年～平成12年にかけて、飼料生産対策事業（エゾシカ侵入防止対策事業）を活用し防鹿柵を設置するに至った。
- ☑ 平成8年 併用柵 高さ1.5m（フェンス0.6m、電柵3段張り）
平成9年 併用柵 高さ1.8m（フェンス0.9m、電柵3段張り）
平成10年 上記に加え、茶路地区と和天別地区にフェンス柵（高さ2m）を広域的に設置した。
以降はフェンス柵が主流となっている。
- ☑ ※広域柵は茶路地区及び和天別地区の受益者で構成した利用組合でそれぞれ管理し、柵の見回りや修繕を行っている。
- ☑ ※R元年度までの整備状況は電気柵240km、フェンス柵164kmで総延長は404kmとなっている。（中山間事業で設置分を含む）
- ☑ 今後も、鳥獣被害防止総合対策事業や中山間事業を活用し、フェンス柵の整備推進に取り組む計画。尚、令和3年度以降の整備は約25kmを予定している。
- ☑ JAとしても、広域柵を管理する利用組合や、牧草・テントコーン被害状況に依じた個人柵の整備推進のため各補助事業の活用、また行政・関係機関と密接な連携を図り、エゾシカによる被害率の減少、ひいては良質粗飼料確保による生乳生産量の増産に向けた取り組みを継続して参ります。



ご清聴ありがとうございました